

# 交通輸送技術検討会（第2回）

## 議事要旨

日時：平成30年1月10日（水） 14：00～16：00

会場：虎ノ門ヒルズ森タワー9階 会議室「TOKYO」

### 1. 開会

### 2. 議事に関する主な意見等

#### （1） 東京2020大会の交通マネジメントに関する提言（中間のまとめ）（案）

本日の検討会における修正意見の反映を前提に、本案を提言（中間のまとめ）とすることを決定した。

#### ○2. 大会時の交通の見通し

- ・内容を正確に伝えるために、大会時に「『何もしないと』首都高の渋滞が現況の倍近くなる」等、表現を再検討する。

#### ○4. 実施目標の設定

- ・図は、大会に関係しない一般交通を削減する事による交通の見通しを示しているので「『一般交通を』全体の10%程度削減」とする。
- ・大会期間中、継続的に10%の需要抑制に行うことが課題なので「『継続的に』10%程度抑制」という表現を追加する。
- ・公共交通（鉄道）は、局所的に混雑が発生することが特徴であるため「『局所的な対応をすることによって』現状と同程度の安全性と円滑性を確保する」とする。

#### ○5. 交通需要マネジメント（TDM）

- ・サブタイトルの「～交通行動をやめる、へらす、かえる～」では、すべての交通需要を抑制すると誤解を招く恐れがあるため、表現を再検討する。
- ・図の凡例内に「移動の多い行き来」とあるが、移動は人を対象とするもので、物の輸送の意を含めた表現に変更する。
- ・企業だけでなく市民の協力も必要である事がわかる様、「企業の協力」を「企業『等』の協力」とし、図中の各組織に『市民』を明記する。
- ・TDM成功のためには、強力な推進体制の構築が必要であるため「TDM推進ボランティアの

養成」について、表現を再検討する。

- ・「説明員」では参画の程度が弱い印象なので、『体制の構築』とする。
- ・TDMの検討に当たり、車種別の分析が必要。
- ・TDMの実施は重要であるが、全体的な周知等について今後議論が必要。
- ・宅配便の時間指定等についての議論が後々必要。

#### ○6. 交通システムマネジメント（TSM）

- ・都心部の高速道路で全面的にはオリンピック専用レーンを導入しない理由を明確に記載する。
- ・「入口・IC」と併記しているが同義のため、『入口』と統一する。
- ・流入調整の結果、朝ピークの流入交通（往路）の需要が抑制されることで、夕方の流出交通（復路）の抑制も期待されることを追記する。

#### ○7. 道路の交通マネジメントにおいて更に検討が必要な事項

- ・実施目標は高速道路も一般道も含めた目標であるが、一般道の交通マネジメントについては、更に検討が必要であるので、課題に追記する。

#### ○9. 交通マネジメントの実施に向けて【提言のまとめ】

- ・「（3）将来の都市交通に関するレガシー」において、①のバリアフリーや駅改良は、④のより良い交通環境の創出に包含されるので、表現を再検討する。

#### （2） 交通輸送技術検討会に係わる今後のスケジュール（案）

意見なし

#### （3） その他

- ・大会関係者輸送について、渋滞や事故時など交通状況に応じた対応の必要性について意見交換を行った。

### 3. 閉 会